

	音楽研究会 部会記録				
日時	令和3年11月10日(水) 15:30～16:45				
部会名	音楽づくり			主任	彌榮 佳子
参加数	16人	司会	高橋 恵	記録	高久 実沙
研究部テーマ：音楽的な見方・考え方を働かせて、思いや意図をもって、協働的に学ぶ子どもの姿を目指して 部会テーマ：発想を得たり、思いや意図をもったりしながら、共に考え、つくった音楽のよさを感じることが できる活動					
研 究 内 容	研修：「研究授業に向けた事前研究」 (Google meet 開催)				
	一斉研 授業について：上菅田笹の丘小学校 西場 翠先生				
	指導案について即興的に選択したり、組み合わせたりすることに重きを置くようにした。先行クラスでは、児童が拍を感じて演奏できているが、第1時でのリレーで時間がかかってしまい、個人での旋律づくりまでは難しかった。				
	○モデル演奏に伴奏をつけるかどうか。				
	→第2時では、つけてもよい。第1時の出来によって決める。				
	○第2時で音楽をつくる際の相談はどのような形で行うか。				
	→相談は二人で行うと、音楽をつくる時間の確保にもつながる。聴き合うときは、4人で聴き合う。				
	○グループで発表する際の児童の聴く視点は、どのようにするか。				
	→言ったほうが良いクラスとそうでないクラスがあり、要検討。				
	「～な感じにしたいから、～な動きにしました。」のように、めあてを意識し、聴いて欲しいところを発表する。				
研 究 内 容	- こうしたいという思いはつくっていると生まれてくるので、思いも即興的にもつものとしてよい。 - 音楽の感じと旋律の流れは、別のものとして考えてもよいのではないか。				
	○第3時は、発表だけになってよいか。				
	→伴奏に合わせたり、別の音を試して変えながら演奏したりして、最後に聴き合うようにする。				
	勝田小学校 藤田先生より				
	音楽づくりでは、協働的に考えてつくることが重要である。友達に聴いてもらう場面を大切にすると良い。アドバイスタイムを教師が設定し、共に考え合う場面をつくると良い。				
	佐藤先生より				
	即興的な表現については、子どもは、即興的に表現していてもまとまりのある音楽にしているので、こうしたいという思いも生まれるものである。伴奏に合わせることだけにならないよう、つくった旋律をじっくり聴くことを大切にしてほしい。				
	今村先生より				
	教師が良い演奏を全員に広げ、学びを深めることが重要である。第2時で友達の演奏を聴いて掴んだことを、第3時で自分の演奏に生かしていくことが大切。即興的な表現は、こんな感じが良いと考えたことを、何度も練習することが小学校での即興的な表現であり、即興演奏とは、別物である。条件に基づいてつくっていく中で、思いや意図は現れてくるので、自分が考えたものをつくることができれば良い。伴奏は、低音で「ドドファファソソドド」などを教師が小さく付け、子どもの演奏を曲らしくしてあげると良い。				
	※事務連絡・・・さわの里小学校の国立教育政策研究所教育課程研究指定校事業研究発表会が 12月6日(月)に行われるため、各校音楽部以外にも連絡をお願いします。				